

一般口演プログラム

11月4日（土）
9：00～11：00
A会場（教育研究棟C101）

T1～T4 テーマ：日本・縄文時代以前
座長：近藤修
T5～T10 テーマ：日本・弥生時代以降
座長：中橋孝博

9：00～9：12	T 1	沖縄の更新世人骨の年代に関する追加資料 ○近藤 恵・松浦秀治（お茶の水女子大学・生活科学部・自然人類学研究室）
9：12～9：24	T 2	幼年期の下顎骨における縄文人と現代日本人の形態差について 深瀬 均（東大・理・人類）
9：24～9：36	T 3	縄文人の地理的多様性とは何だろうか—頭蓋と四肢骨の計測的特徴に基づく比較— 瀧川 渉（東北大院・医・人体構造学）
9：36～9：48	T 4	成長期における縄文時代人大腿骨の形態学的研究—骨幹部の栄養孔位に着目して— 水嶋崇一郎（東大・理・人類）
9：48～10：00	T 5	種子島広田遺跡出土人骨 ○竹中正巳（鹿児島女子短期大学） 石堂和博・徳田有希乃（鹿児島県南種子町教育委員会）
10：00～10：12	T 6	北部九州・山口弥生人に見られる高顎傾向と鼻根部平坦性の成長変化 岡崎健治（九州大学・比較社会文化）
10：12～10：24	T 7	大浦山洞穴出土の弥生時代人骨 ○佐宗亜衣子（東大・総合研究博物館） 諏訪 元（東大・総合研究博物館）
10：24～10：36	T 8	古人口学的研究：一橋高校遺跡出土の江戸時代人骨の分析 ○長岡朋人・平田和明（聖マリアンナ医大・解剖）
10：36～10：48	T 9	茨城県東海村村松白根遺跡から出土した中世人骨のミトコンドリアDNA解析 ○坂平文博（名大・院情報） 西本豊弘（国立歴史民俗博物館）
10：48～11：00	T 10	オホーツク文化人の古代DNA分析 ○佐藤丈寛（北大・院理・生物） 小野裕子（北大・総合博） 天野哲也（北大・総合博） 石田 肇（琉球大・医） 小寺春人（鶴見大・歯） 松村博文（札幌医大） 米田 穣（東大・院新領域） 増田隆一（北大・創成研）

一般口演プログラム

11月4日（土）
14：00～17：00
A会場（教育研究棟C101）

- T11～T14 テーマ：現代人・形態と遺伝子
座長：五十嵐由里子
T15～T17 テーマ：現代人・バイオメカニクス
座長：足立和隆
T18～T20 テーマ：現代人・生体計測
座長：溝口優司
T21～T25 テーマ：考古学
座長：鵜澤和宏

14：00～14：12	T11	再び眼窩上孔と舌下神経管二分について—現生人類における出現頻度の比較 ○百々幸雄（東北大・医・人体構造） 石田 肇（琉球大・医・解剖） 塙原恒彦（佐賀大・医・解剖人類）
14：12～14：24	T12	現代日本人女性の骨盤上の痕跡と妊娠・出産経験の関係 ○五十嵐由里子（日本大・松戸歯・解剖人類形態） 上江州香實（日本大・松戸歯・数学） 金澤英作（日本大・松戸歯・解剖人類形態）
14：24～14：36	T13	ヒト歯冠計測値から見た琉球列島集団の多様性と他のアジア集団との比較検討 ○当真 隆（琉球大・医・解剖） 塙原恒彦（佐賀大・医・解剖人類） 砂川 元（琉球大・医・歯口外） 羽地都映（琉球大・医・解剖） 石田 肇（琉球大・医・解剖）
14：36～14：48	T14	台湾原住民のmtDNA多様性 陳 錫秉（慈済大學醫事技術學系） ○太田博樹（東京大、新領域、先端生命） 蕭 育民（慈済大學醫事技術學系） マーク・ストーンキング（マックス・プランク進化人類学研究所、進化遺伝） 吳 紹基（慈済大學醫事技術學系）
14：48～15：00	T15	女性の静止立位における良い姿勢の検討-太極拳実施者と運動非実施者のアライメント及び重心位置- ○綿谷昌明（九州保健福祉大 QOL 研究機構、九州大・大学院芸術工学府・芸術工学、宇部第一病院・リハ科） 岩本壯太郎（九州保健福祉大・保健科学部・作業療法学）
15：00～15：12	T16	地域在住健康な高齢者の歩行特徴にみられる経時変化 ○木村 賛（石川県立看護大） 小林宏光（石川県立看護大） 中山栄純（北里大、看護）
15：12～15：24	T17	日本人肩甲骨内側縁における大菱形筋の停止様式について ○竹内京子（防衛医大・再生発生） 高橋 裕（防衛医大・生物） 松村秋芳（防衛医大・生物） 岡田守彦（帝京平成大・ヒューマンケア） 今城純子（防衛医大・再生発生） 小林 靖（防衛医大・解剖学）
15：24～15：36	T18	CT画像に基づいた頭蓋腔容積の計測に関する誤差の検討 ○久保大輔（東京大・理・人類） 河野礼子（科博・人類） 謙訪 元（東京大・総合研究博物館）
15：36～15：48	T19	個人内形状変化パターンの分析 ○河内まき子・持丸正明（産総研・デジタルヒューマン）
15：48～16：00	T20	有限要素尺度法による現代日本人手背部皮膚形状変形の解析 ○松川慎也（東大・理・人類） 持丸正明（産総研・デジタルヒューマン研究センター） 河内まき子（産総研・デジタルヒューマン研究センター）
16：00～16：12	T21	北海道厚岸町厚岸湖沿岸の貝塚遺跡と出土人骨について（予報） ○高山 博（慶大・文・人類学） 西 幸隆・加藤春雄（釧路市立博物館） 桜井準也・安藤広道（慶大・文） 古田 幹（慶應高校） 熊崎農夫博（厚岸町教委）
16：12～16：24	T22	狩猟採集民のいた島、沖縄 高宮広土（札幌大学・文化学部）
16：24～16：36	T23	骨の傷跡から利器を推定する 松井 章（奈良文化財研究所／京都大学大学院人間・環境学研究科併任）
16：36～16：48	T24	愛媛県上黒岩洞窟の動物利用 ○姉崎智子（群馬自然史博） 佐藤孝雄（慶大・文） 西本豊弘（国立歴民博）
16：48～17：00	T25	馬場小室山遺蹟における縄紋式晚期ムロ（室）施設 鈴木正博（早大・先史考古学研究所）

一般口演プログラム

11月5日(日)
9:00~12:00
A会場(教育研究棟C101)

T26~T27 テーマ: 靈長類・形態
座長: 萩原直道
T28~T31 テーマ: 靈長類・行動
座長: 山極寿一
T32~T34 テーマ: 靈長類・バイオメカニクス
座長: 石田英實
T35~T40 テーマ: 成長
座長: 多賀谷昭

9:00~9:12	T26	コロブスとクモザルの中手骨の形態について 高野智(財日本モンキーセンター)
9:12~9:24	T27	テナガザル類の舌骨喉頭器官の変異 西村剛(京大院・理・自然人類)
9:24~9:36	T28	道具を使う新しい運動機能の学習過程 ○平井直樹(杏林大学・医・統合生理学) 本郷利憲・内藤公郷・佐々木成人(東京都神経科学総合研・神経生理)
9:36~9:48	T29	ニホンザルはシラミ卵の中身を食べ、孵化後の殻だけは捨てるようである 田中伊知郎(四日市大・環境情報)
9:48~10:00	T30	3色型色覚が有利とは限らない新世界ザルの実態: 人類高頻度色覚異常成因の再考へ ○河村正二・筒井登子・平松千尋(東大・新領域) Amanda D. Melin, Linda M. Fedigan (Univ. Calgary) Colleen M. Schaffner (Univ. Chester) Filippo Aureli (Liverpool John Moores Univ.) 印南秀樹(総研大)
10:00~10:12	T31	タンザニア、マハレのチンパンジーによるベッド作成の季節間比較 五百部裕(相山女学園大学・人間関係学部)
10:12~10:24	T32	ニホンザルの樹上移動運動に関する運動学的分析 ○日暮泰男・平崎鋭矢・熊倉博雄(大阪大・人間科学・生物人類)
10:24~10:36	T33	ニホンザル四肢筋骨格構造の機構解析 ○萩原直道・中務真人(京都大・理・自然人類)
10:36~10:48	T34	ヒト上歯の咀嚼時における大臼歯エナメルプリズムの機能 ○清水大輔(京都大・靈長研) Gabriele A. Macho (Roehampton Univ.)
10:48~11:00	T35	北京と内蒙古シリンホトの子どもの成長 ○芦澤玖美・棚町徳子(大妻女大・人間生活科研) 金鋒(中国科学院・心理研) 李玉玲・陸舜華(内蒙古師範大・生命科学院)
11:00~11:12	T36	Anthropometric analysis of Turkish children and adolescents aged 6-17 years ○ KOCA OZER, Basak, KATAYAMA, Kazumichi (Kyoto University, Graduate School of Science, Lab. of Physical Anthropology)
11:12~11:24	T37	成長における形と大きさの概念の拡張: その小児肥満への応用 多賀谷昭(長野県看護大)
11:24~11:36	T38	子どもの歯とからだの発育 ○佐竹隆・高橋昌己(日本大・松戸歯) 田中茂穂(国立健康・栄養研究所) 服部恒明(茨城大・教育)
11:36~11:48	T39	胎児期におけるヒト頭蓋骨の三次元成長変化 ○森本直記(京都大・理・自然人類) 萩原直道(京都大・理・自然人類) 片山一道(京都大・理・自然人類) 塩田浩平(京都大・医・形態形成機構)
11:48~12:00	T40	乳児口コモーション発達の型について ○岩田浩子(名女大・短大・保育) 正木健雄(日体大)

一般口演プログラム

11月5日(日)
13:00~15:12
A会場(教育研究棟C101)

T41~T47 テーマ: アジア・形態
座長: 石田 肇
T48~T51 テーマ: 生態と社会の進化
座長: 井原泰雄

13:00~13:12	T41	頭骨形態からみたジャワ原人の進化史 ○海部陽介・馬場悠男(科博・人類) F. アジズ(インドネシア地質博物館) E. インドリアティ・T. ヤコブ(ガジャマダ大)
13:12~13:24	T42	ジャワ島サンギランの含人類化石層の最小年代確定に向けて ○松浦秀治・近藤 恵(お茶の水女子大学) 兵頭政幸(神戸大学) 檀原 徹(京都フィッション・トラック) 竹下欣宏(栃木県立博物館) 上嶋優子・金枝敏克(神戸大学) Fachroel AZIZ、SUDIJONO(インドネシア地質調査研究所) 熊井久雄(大阪市立大学)
13:24~13:36	T43	カンボジアPhum Snay遺跡出土の先アンコール時代人骨について ○松村博文(札医大・医・解剖) DOMETT, K. (ジェームズクック大・生物医学) BUCKLEY, H. (オタゴ大・医・解剖) 山形眞理子(早大・文)
13:36~13:48	T44	東アジア諸集団の頭蓋形態の多様性とその由来 ○重松正仁(佐賀大学・医・歯科口腔外科) 石田 肇(琉球大学・医・解剖) 後藤昌昭(佐賀大学・医・歯科口腔外科) 塙原恒彦(佐賀大学・医・生体構造機能)
13:48~14:00	T45	弥生時代相当の韓国勒島人骨について—頭蓋骨の形態の検討— ○藤田 尚(新潟県立看護大学・人間環境学領域) 茂原信生(京都大学靈長類研究所) 崔 鍾圭(韓国慶南考古学研究所)
14:00~14:12	T46	弥生時代相当の韓国勒島人骨についての古病理学的検討 ○鈴木隆雄(東京都老人総合研究所) 藤田 尚(新潟県立看護大) 崔 鍾圭(韓国慶南考古学研究所)
14:12~14:24	T47	弥生時代相当の韓国勒島人骨について—歯の観察からの検討— ○橋本裕子(奈文研・環境考古学研究室) 藤田 尚(新潟県立看護大・人間環境学領域) 崔 鍾圭(韓国慶南考古学研究所)
14:24~14:36	T48	現生ニホンジカにおける採食生態・生息環境と大臼歯微細咬耗の関連性 尾崎麦野(東大・理・人類)
14:36~14:48	T49	現代日本人における身長に関する同類婚の傾向と原因について ○関元 秀・関加奈子・井原泰雄・青木健一(東京大・理・人類)
14:48~15:00	T50	定期的に変動する環境下での社会学習における同調伝達の進化 中橋 渉(東京大学・理・生物・人類)
15:00~15:12	T51	祖型人類の生態と社会:類人猿モデルの検証 山極寿一(京都大・理・人類進化論)

一般口演プログラム

11月5日（日）
13:00～14:24
C会場（教育研究棟B101）

T52～T55 テーマ：オセアニアの考古学
座長：印東道子
T56～T58 テーマ：化石靈長類
座長：中務真人

13:00～13:12	T52	フィジーにおけるラピタ人の拡散—「ポリネシア行き急行」仮説をめぐって— ○石村 智（奈良文化財研究所）パトリック・ナン（南太平洋大学）ロゼリン・クマール（南太平洋大学）セペチ・マタラランバ（フィジー博物館）
13:12～13:24	T53	ポリネシア・プカプカ環礁出土動搖下顎のCT像 ○吉田俊爾・佐藤 巍（日本歯科大学・生命歯学部・解剖学）河合泰輔・浅海利恵子（日本歯科大学・生命歯学部・歯科放射線学）
13:24～13:36	T54	ミクロネシア・ファイス島における資源利用と環境変化 印東道子（国立民族学博物館・民族社会・考古）
13:36～13:48	T55	The Examination of Skeletal and Dental Pathologies of the Human Skeletal Remains from Fais Island, Federated States of Micronesia Lee Ai Ling, Kazumichi Katayama, Michiko Intoh
13:48～14:00	T56	ケニア、ナカリの化石類人猿について ○中務真人（京大・院理）國松 豊（京大・靈長研）仲谷英夫（鹿児島大・地球環境）辻川寛（東北大・院医）山本亜由美（京大・靈長研）酒井哲弥（島根大・総合理工）實吉玄貴（林原古生物学研究センター）澤田順弘（島根大・総合理工）
14:00～14:12	T57	膝蓋骨の形態からみたアフリカ産中新世類人猿の体移動様式 ○石田英實（滋賀県大・人間看護・基礎）中野良彦（阪大・人間科学・生物人類）荻原直道・中務真人（京大・理・自然人類）清水大輔・国松豊（京大・靈長研・形態進化）高野智（日本モンキーセンター）
14:12～14:24	T58	エチオピア、アファール地溝帯南西部の古人類学調査 ○諏訪 元（東大・総博）B. Asfaw（エチオピア地溝帯研究センター）河野礼子（科博・人類）Y. Beyene（エチオピア文化観光省）